



12月3日 参院文科委

あなたの声が 政治を動かす力です

——今年の参院選挙で私が訴えた言葉です。

二期目の国会でも、市民の声が政治を動かしています。

大学入試改革は、高校生が声を上げたことで、いったん延期になりました。

就活セクハラ問題では、大学生が声を上げたことで、

文科大臣も「セクハラをなくすため努力する」と言いました。

「桜を見る会」で見えてきた政治の私物化、

安倍政権のモラルハザードの酷さはとどまることを知りません。

しかし、野党が一体に追及する中で、

改憲策動は押しとどめることができました。

市民と野党が力をあわせれば、悪政は止められるし、変えられる。

2020年こそ、一人一人の声が何よりも大切にされる政治を実現する年に。

あなたの声を政治に届けるために今年も全力でがんばります。

吉良よし子



学校の先生の過労死増やすな

国会では今年の働き方改悪に続き、

学校の先生の長時間労働を合法化する変形労働時間制を公立学校に導入する法案が提出されました。

制度導入の前提なし

文教科学委員会では、学校現場に制度を導入させないため、制度適用の前提条件などを詳細に確認。現在、小学校で60時間以上、中学校で80時間以上に上る時間外労働を大幅に削減することなしに制度の導入はできないことを大臣が認めました。



文部科学大臣

『時間外勤務を月45時間とする
上限ガイドラインの遵守が導入の大前提』



吉良議員

『現在、月45時間以上
働いている教員の割合は？』



初等中等教育長

『小学校で6割、中学校で7割』

つまり、現時点で制度導入の前提なし

制度導入した後でも、月45時間を超える時間外勤務がある場合には、

「(制度の適用を)取りやめることとなる」

「タイムカード等による正確な在校時間の記録など
勤務時間管理の徹底なしに導入不可」

と、文科大臣が答弁しました。

変形労働時間制導入には都道府県の条例制定が必要です。条例制定をさせない運動を各地ですすめましょう。

現職教員が国会で訴え

大変憤っております。
制度により業務が増える。
教員の大多数は
望んでいません。



西村祐司さん(現職高校教員。筆名「斉藤ひでみ」@kimamanigo0815)
11/28文教委員会・参考人質疑にて。

学校の先生の過労死なくすための提案

教員の過労による休職や痛ましい過労死があとを立たない背景に、教員不足と業務の肥大化があります。さらに、公立学校の先生は残業代が支給されないことが、際限のない長時間勤務を引き起こしています。

日本共産党の提案

- 1 学校の先生を抜本的に増やすこと。
- 2 全国学力テストなど多忙化の原因となっている業務を文科省が削減すること。
- 3 残業代を不支給とする法律を改正し、学校の先生に働いた分の残業代を払うこと。



「就活セクハラ」対策、前へ



就職活動中の面接やOB訪問でのこんな言動はセクハラです!

社外での面談、社外での待ち合わせを要求される

食事やデートに執拗に誘われる

異性との交友関係について質問を受ける

OB訪問等において性的な関係をもちかけられる

性的な冗談を言われる／性的なからかいを受ける

就活セクハラ取材を続ける中で、院内集会から学生団体主催の小さな勉強会まで、至る所で吉良議員の姿を見かけました。自分たちの声に耳を傾ける政治家がいることは、法で保護されていない就活生にとってどれだけ心強かっただろうと。吉良議員の国会質問により道が開けたことはとても大きいです。



就活生は非常に脆弱な立場にあります。学生を採用できる立場にある人々が、その立場を利用して学生にセクハラするのは到底許されない行為です。就活セクハラを経験するのは私たちが最後であってほしいと願っています。これからも声を上げていきます!



大学入学共通テスト、延期へ

高校生たちの声で大学入試共通テストへの英語民間試験活用が11月に、記述式の導入が12月に、それぞれ延期されました。文部科学省前での抗議行動、野党合同ヒアリングで高校生たちと一緒に声をあげ、「公平、公正な入試を」と国会で質問したことが政府を追いつめました。延期に終わらせず中止を。



12月6日 記述式試験導入問題野党合同ヒアリング



11月1日 英語民間試験の延期を求める会

吉良よし子 活動レポート

性暴力の根絶を



毎月のフラワーデモで性被害の当事者とともに。9月11日 東京駅前

羽田新ルートやめて



危険な低空飛行はNOと各地のパレードに。10月26日 江東区

超党派「シェルターシンポ」



世界基準に沿ったDV、性暴力対策にむけ意見を交わす。12月8日 東洋学園大学

日韓議連総会に出席



女性委員会と未来委員会に参加しました。11月1日 国会内

パートナーシップ条例を



LGBTえどがわのイベントでごあいさつ。主催者の方と。11月2日 江戸川区

吉良さんは僕の意見をそのまま「高校生はこう言ってますよ」と伝えてくれた。個人的な話だけど、ぐっとくるものがありました。

文部科学省前で一緒に声をあげた クリスさん (高校2年生)

出典:『世界』2020年1月号 no.928



アルミ系添加物

アメリカの要求はねのける

2016年のTPP特別委員会で、毒性の強いアルミニウム系添加物を「アメリカ言いなりに認可するな」と求めた質問をきっかけに、2019年12月、政府はアルミ系添加物3種類の認可の検討を取りやめたことを明らかにしました。

これらの添加物は、ベーキングパウダーとして広く使われています。使用拡大させないよう、引き続きがんばります。



台風被害の現地調査、省庁交渉

台風15、19号の甚大な被害を受けた都内各地で住民の声を聞き、担当省庁に伝えて対応を求めました。



10月1日 大島町、副町長に要望聞く



10月13日 世田谷区



10月14日 八王子市



10月16日 新宿駅にて災害支援募金



10月13日 あきる野市、17日市長と懇談



10月17日 日の出町 19日 奥多摩町(写真)